

科目名		基礎看護学特論Ⅱ				分野・必選別・ 単位数		専門科目 (基礎看護学)		選択必修		2単位			
担当教員		◎准教授 新井直子 准教授 砂見緩子 准教授 伊豆上智子													
課程		博士後期		配当年次		1年		配当学期		後期		授業方法		講義	
授業の概要		基礎看護学特論Ⅰで、検討した自己の研究課題について、さらに文献検討と理解を深めるとともに、独自性の高い研究課題を設定し、研究計画書に必要な研究デザインと研究の推進について検討する。また、特殊研究へ取り組む準備を整え、研究に向かう姿勢を涵養する。													
授業の到達目標		1.基本文献の抄読とフィールドワーク実習の企画や実施により、自己の研究課題を明確に述べることができる。 2.研究課題に基づき、研究方法の選択と洗練の方法を検討することができる。 3.対象者の倫理的配慮を含めて、研究計画書を作成することができる。													
授業計画	回数	担当者						行動目標							
	1	新井 直子		准教授		科目概説:科目の概要を理解し、今後の計画を立案できる。									
	2	新井 直子 砂見 緩子 伊豆上智子		准教授 准教授 准教授		学生個々の状況に応じてすすめる。 ・自己の研究課題について概説できる。 ・自己の研究課題に沿って関連する先行研究や学際的文献を検討できる。 ・自己の研究課題に適した研究デザインを検討できる。 ・予備研究の方法を検討できる。 ・予備研究の研究計画書、倫理審査申請書を作成できる。 ・予備研究を実施し、結果・考察できる。 ・予備研究の結果をもとに、研究計画書(仮)を作成できる。									
	3														
	4														
	5														
	6														
	7														
	8														
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	研究推進の進捗状況についてプレゼンテーションを行えるよう、また、他者のプレゼンテーションを通して、ディスカッションできるよう、各自準備する。													
	【事後学修】	授業中の疑問点および課題をまとめ、文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。													
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。													
教科書		特に定めない。													
参考書		特に定めない。													
成績評価の方法および基準		プレゼンテーションの内容と方法:50%(妥当性・適切性・批判的思考・課題への示唆・資料の作成) レポート:50%(論理性・一貫性・適切性) 課題―①予備研究の結果 ②研究計画書(仮) 以上で評価する。													
その他履修上の注意事項		レポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行うので活用すること。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示しているので確認すること。													